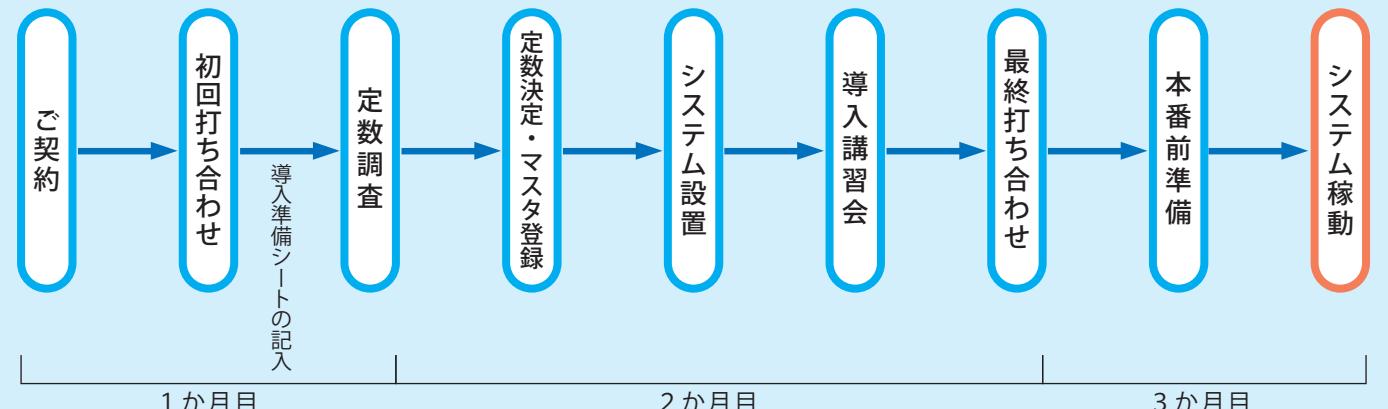


HOSPITAL SERVICE

～簡易型透析物品管理システム～
エスネット HD



■ エスネット HD 導入までの流れ



1か月目

2か月目

3か月目

※ ご契約からおよそ 2か月半～3か月で稼動可能です。



※エスネット HD にはインターネット(eメール)が使用できる環境が必要です。

※エスネット HD はスタンドアロン版のため、複数台のパソコンで使用することはできません。

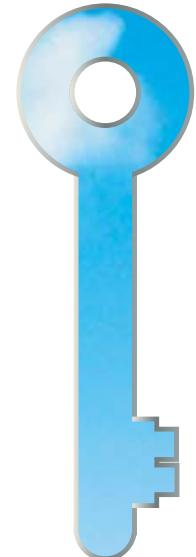
※エスネット HD は弊社の商品マスターを使用するため、複数の業者では運用できません。そのため、エスネット HD の発注は弊社一括管理となります。

※専用端末用ハード一式(パソコン・プリンタなど)、ソフト利用料、バーコードシール、ハード保守料金は月額利用料に含まれます。プリンターのトナー等の消耗品は実費をご負担頂きます。

※契約期間は1年単位(自動更新)です。システムの契約を解除される場合は、パソコンなどの端末一式は弊社にご返却いただきます。過去のデータはCSVにて出力し、病院様へ返却させていただきます。

※パソコンの故障など、ハードの故障は代替機器で対応致します。データはバックアップを取られた時点までの復旧になります。

詳しくは弊社営業担当者までお問い合わせ下さい。



問題解決の鍵がここにあります。

最適な病院経営・施設づくりのために。

物品管理もホスピタルサービスにおまかせください。



www.hps-mds.jp

技術協力

medical support

株式会社 メディカルサポート 〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町2 SMGビル5F

●商品の購入・商品に関するお問い合わせは・・・



株式会社 ホスピタルサービス
HOSPITAL SERVICE Co.,Ltd.
URL <http://www.hps-mds.jp/>

- 京都本社 〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町2番地 TEL: 075-671-2361 FAX: 075-671-2309
- 滋賀分室 〒520-3047 滋賀県栗東市手原1丁目5番36号 TEL: 077-554-9500 FAX: 077-553-6927
- 大阪分室 〒532-0031 大阪市淀川区加島1丁目56-12 TEL: 06-6889-3331 FAX: 06-6889-1113
- 和歌山営業所 〒641-0014 和歌山市毛見10-2 TEL: 073-446-7711 FAX: 073-446-7710
- 神戸営業所 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目2番9 TEL: 078-304-5671 FAX: 078-304-5672

個別パック化デリバリー・システム誕生。 驚きのコストパフォーマンスを実現！！

エスネット HD は患者ごとに1回分の透析材料を個別パック化して納品する、画期的な簡易型透析物品管理システムです。血液回路、ダイアライザー、留置針など最大8品目までパック可能で、最大99床・1日3クールまで対応できます。システムのご利用は月額基本パック料をご負担頂くだけの、自社開発ならではのコストパフォーマンスを実現しました。また、システムの利用は1年契約ですので1年のみのご利用も可能です。運用後のサポートも弊社に安心しておまかせください。

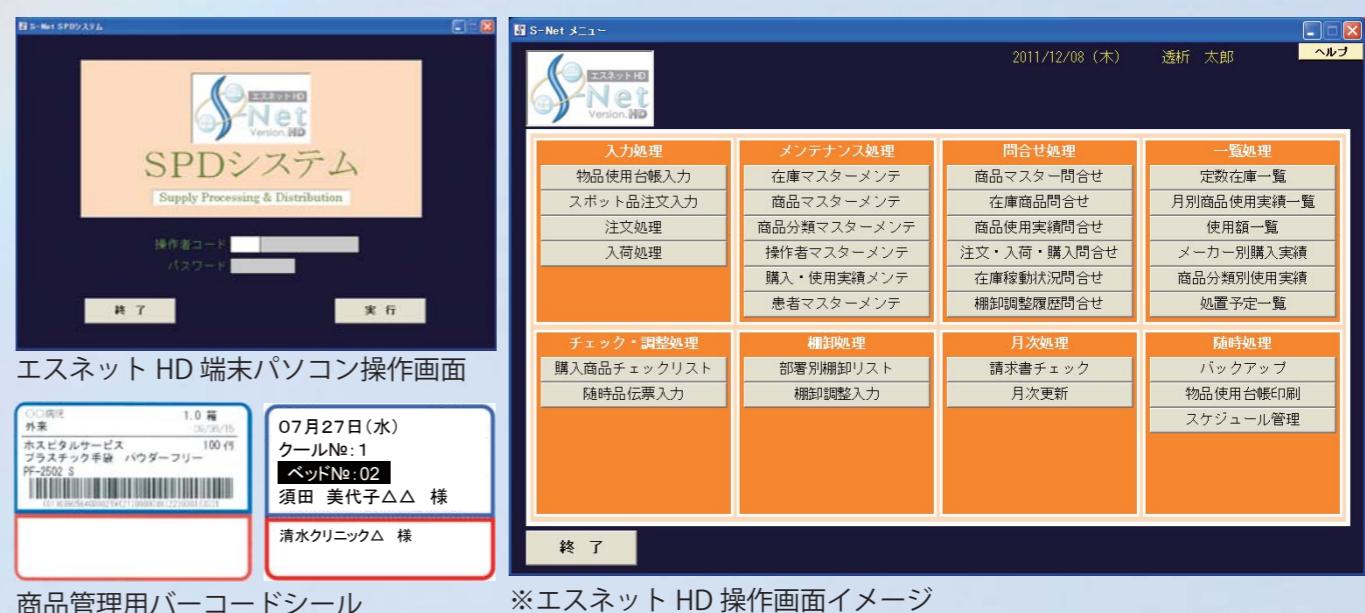
導入後 システム月額利用料のみ



インターネットでつながる、 ホスピタルサービスならではのベストソリューション。

エスネットはインターネット(eメール)を利用して弊社の商品マスターを使用します。商品にはエスネット専用のバーコードシールが貼付されます。使用商品のバーコードをバーコードリーダーで読み込むだけで、自動的に注文のeメールが当社に送信されます。画面入力は専用のパソコン端末から行います。

- ・システム導入準備
- ・システム導入
- ・講習会・立会い
- ・アフターフォロー



透析施設が抱える物品管理の最適化を推進し、 スマートな経営をサポート！

ホスピタルサービスではリアルタイムな弊社独自のベンチマークシステムを持っています。市場価格の変動などにもリアルタイムに対応しているため、最新情報を基に適正な価格交渉が実現可能です。同種同効品の標準化を図り集約することで、コスト削減のご提案と価格交渉を行います。エスネット HD で院内の物流管理情報を一元化することで、部署別定数配置一覧やメーカー別購入実績表、部署別払出実績表など、物流管理に関する情報も必要な時にすぐに抽出することができ、院内の物流を常に最適な状態に保つことができます。



情報の一元化
一括購入

物品管理
購買管理
在庫管理
搬送管理
消費管理

メリット

- ① 物品管理業務の合理化
- ② 院内在庫の削減
- ③ 不良在庫の防止
- ④ 保険請求ミスの防止
- ⑤ 看護環境の改善
- ⑥ 管理コストの低減

